

試験研究成果普及情報

部門	内水面	対象	研究
課題名：利根川におけるシラスウナギの遡上時期			
〔要約〕シラスウナギの遡上時期を解明するために、利根川河口堰の魚道において袋網による採捕調査を行ったところ、遡上時期は、最も早くて11月下旬から始まり、最も遅くて8月上旬であった。また、遡上の多い時期は、2月下旬から5月中旬の間であり、年による違いがあることが認められた。			
キーワード 利根川、シラスウナギ、遡上時期			
実施機関名 主 査 千葉県水産総合研究センター内水面水産研究所 協力機関 (独)水産総合研究センター(増養殖研究所・西海区水産研究所)等			
実施期間 2011年度～2015度			

〔目的及び背景〕

千葉県のシラスウナギ採捕量（12月～翌年4月まで）は、平成21年度～平成24年度にかけ4年連続で低調であり、平成26年6月には、絶滅危惧種に指定されるなど資源の減少が著しい。一方、ウナギの生態については不明な点が多いため、初期生態の解明の一環として沿岸に来遊するシラスウナギの遡上時期を明らかにすることを目的に、平成23年10月～平成27年9月まで周年、利根川河口堰の魚道において袋網による採捕調査を行った。

〔成果内容〕

- シラスウナギの遡上時期は、最も早くて11月下旬から始まり、最も遅くて8月上旬までであった。
- 遡上の多い時期は、年により異なり、2月下旬から5月中旬の間であった。
- 黒色素が体全体に広がり、発育の進んだシラスウナギは、3月下旬以降に採捕される傾向があった。

〔留意事項〕

〔普及対象地域〕

ウナギの第5種共同漁業権が設定されている県内10の河川・湖沼及びシラスウナギを採捕している県内30の漁業協同組合・採捕組合。

〔行政上の措置〕

〔普及状況〕

[成果の概要]

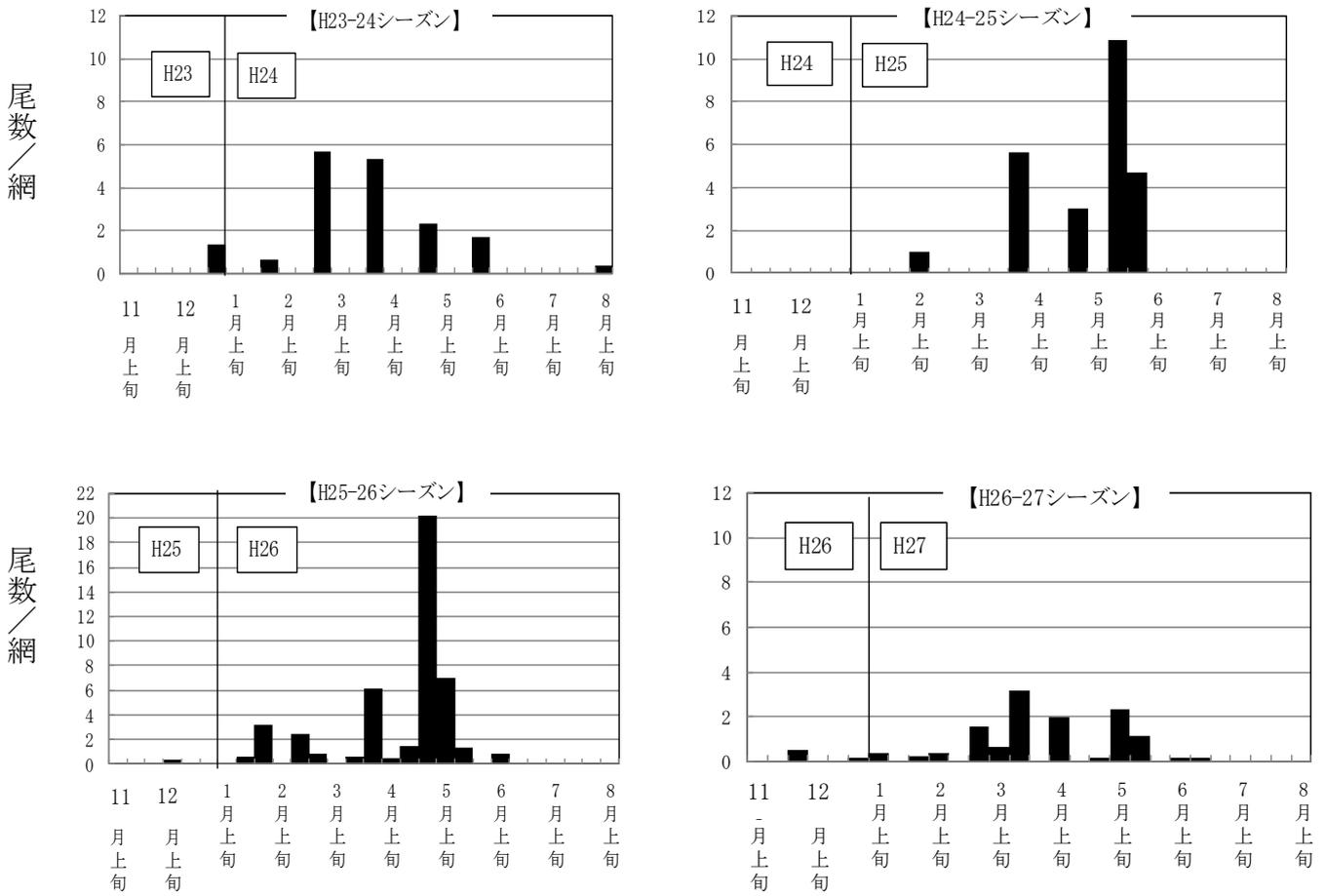


図1 シラスウナギの採捕状況

[発表及び関連文献]

(独) 水産総合研究センター、千葉県水産総合研究センター内水面水産研究所(2015): 「鰻生息状況等緊急調査事業」 平成 25-26 年度 報告書.

[その他]